

**KRK**

浮遊物質 (SS) 濃度を高感度検出  
近赤外90°散乱光測定センサー

# SS/濁度センサー

Suspended Solid & Turbidity Sensor / 90° Scatter Light



## SS濃度と濁度の切替測定例

SS (浮遊物質) 濃度と濁度を選択測定できます

濁度表示

MODEキーを押す

SS表示



排水の浮遊物質 (SS=Suspended Solid) と散乱光濁度は一定の相関関係があります。本器はSSと散乱光濁度との相関係数 $y=a+bx$ を求めてこの係数を設定することで濁度がSS濃度に換算されてSSモードでSSを、濁度モードに切替えると濁度をそれぞれ高感度で測定できます。

# SSTR-5Z

SS/TURB SENSOR

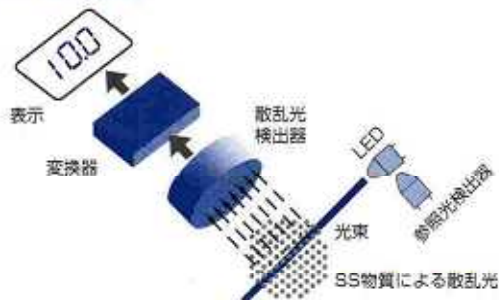
**Kasahara**

# SS/濁度センサー

# SSTR-5Z

## ■近赤外90°散乱光測定 高感度SS/濁度センサー

最大級面積200mm<sup>2</sup>以上の受光素子で高感度SS検出、又、近赤外LED、可視光カットフィルター付で外部光や着色の影響をカット、ノイズに強く安定した測定を保証



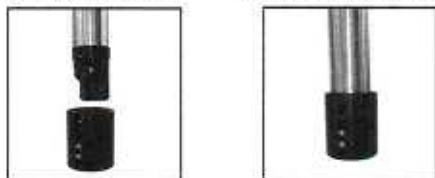
## ■参照光付、LED光源輝度自動補正

LED劣化や温度変化による誤差を自動補正SSセンサー

## ■簡易ゼロ校正板 標準付属、ゼロ校正が簡単

第二ゼロ標準の簡易ゼロ校正板使用でゼロ校正水が無く(第一ゼロ標準は純水を使用します)

校正板 脱着状態      ゼロ校正状態(校正板セット)



## ■SS濃度と濁度を切換えて測定可能

SS(浮遊物質)濃度と濁度を選択測定できます



## ■SSと濁度の相関係数 $y=a+bx$ 演算機能付SS計

手分析法で求めた検水のSSと濁度の相関係数をMODEキー、△▽キー操作で設定可能

## ■検水のSS濃度値に1点又は2点校正も可能

手分析後の検水のSS濃度値にスパン校正も可能

## ■気泡に強いSS/濁度センサー

流体力学的にデザインされた流線型センサーで気泡に強い

## 計器仕様

品名	SS/濁度センサー
型式	SSTR-5Z
測定原理	近赤外90°散乱光測定方式
表示	LCD 4桁
測定範囲	濁度:0~500NTU(標準)
	SS:0~500mg/l(換算値) (SSと濁度の関係が1:1以外の場合はSSの測定範囲は変わります) ※ご指定:FS:0~1000又は0~20
分解能	0.1 / 0~100の範囲で(NTU又はSSmg/l)
	1 / 100~500の範囲で(NTU又はSSmg/l)
再現性	フルスケール 1000の場合:1mg/l
	フルスケール 20の場合:0.01mg/l
再現性	±2%FS以内(一定条件で)
SS換算機能	SS換算係数( $y=a+bx$ ) ( $x$ =濁度, $y$ =SS)の設定が可能
ゼロ校正	第一標準:純水 第二標準:簡易ゼロ校正板
スパン校正	1.フォルマジン濁度標準液で校正後SS換算係数設定
	2.直接SS校正 手分析後のサンプル水のSS濃度に1点又は2点校正
自己診断機能	電池電圧:電池マーク 検出器異常:ERR,500 点滅 校正異常:CAL,ERR
周囲温度範囲	0~40℃
電源	単4アルカリ乾電池(LR03×3本) オートパワーオフ機能(使用しない状態30分後)
外形寸法	計器 75(W)×38(H)×180(D)mm
標準構成	計器本体、検出器(ケーブル6m付)、携行ケース 簡易ゼロ校正板、単4アルカリ乾電池、ストラップ

## 検出器仕様

型式	TRD-120Z
測定原理	近赤外90°散乱光測定方式
検水温度範囲	5~40℃、溶剤、強酸強碱の共存不可
接液部材質	PVC、石英ガラス、SUS-304
ケーブル長	6m標準
重量	約500g(ケーブル別)
標準外付属品	濁度標準液(第一標準:ホルマジン溶液 250mg/l)、測定/校正容器(PVC)

## TECHNICAL INFORMATION

SSとは?	Suspended Solidの略、水中の浮遊物質の意味 グラスファイバー濾紙法
SSの手分析 測定方法	検水を吸引濾過→濾紙乾燥→放冷約30分→計算 (濾過器に濾紙をセットして)(105℃ 2時間)(デシケーターで)
	計算式 $SS(\text{mg/l}) = b - a \times \frac{1000}{\text{検水量}(\text{ml})}$ b=乾燥後の濾紙の重量 a=乾燥前の濾紙の重量 ※SSの手分析法は約3時間程の時間を要します。
相関式 $y=a+bx$ の 求め方	10~20本の試料水のSSと濁度を測定し、計算で相関式 $y=a+bx$ を求める。 試料水は1日約3回(朝昼晩)、1週間程度の期間で採取、測定します。

※本カタログに記載された仕様は性能改良のため予告なく変更する場合があります。

KRK

## 笠原理化工業株式会社

本社 埼玉県久喜市吉羽1丁目10番地10 〒346-0014  
TEL.0480-23-1781(代) FAX.0480-23-2749  
URL <http://www.krkjpn.co.jp>

**KASAHARA CHEMICAL INSTRUMENTS CORP.**  
1-10-10 Yoshiba, Kuki-City, Saitama, Japan 〒346-0014

<p>代理店</p>
------------